

平成17年12月22日
原子力安全対策課
(1 7 - 9 6)
<11時記者発表>

送電系統事故による大飯発電所 1、2号機の原子炉自動停止と 3、4号機の所内単独運転について

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

大飯発電所から関西方面に送電している送電系統（大飯幹線、第二大飯幹線）が、雪の影響により、平成17年12月22日 8時49分から8時53分の間に送電停止した。

このため、定期検査で調整運転中であった大飯1号機は8時57分に、定格熱出力一定運転中の大飯2号機は8時58分に、いずれも「C-S/G水位高タービントリップ」により原子炉自動停止した。また、定格熱出力一定運転中の大飯3、4号機は所内単独運転*に移行した。

その後、8時55分に大飯幹線、9時1分に第二大飯幹線が復旧したことから、10時14分に、大飯3、4号機からの送電を再開し、今後定格熱出力一定運転に復帰させる予定である。

なお、本事象による環境への放射能の影響はない。

*：送電系統事故等により送電できなくなった場合に、発電機出力を低下させて発電所内の負荷のみを持たせた運転。具体的には負荷急減時に蒸気を復水器へ逃がすなどして、原子炉トリップを回避する。

問い合わせ先(担当：伊藤) 内線2353・直通0776(20)0314
--

大飯発電所1,2号機の原子炉停止および3,4号機の所内単独運転について

送電系統概略図

